

# ロシアによるウクライナ侵略の状況

(2024年3月6日時点)

➤ **ウクライナ軍の東部(ドネツク州)及び南部(ザポリヅジャ州)における攻勢が停滞する一方、露軍は、東部(ドネツク州及びハルキウ州)で攻勢を強めるとともに、ウクライナ全土に対するミサイル・無人機攻撃を強化している模様**

戦闘による人的被害・物的損耗の状況

露軍: 死者約12万人、負傷者約18万人 (NYT23年8月18日)

: 死者約18万人 (ゼレンスキー大統領24年2月25日)

: 死傷者35.5万人以上 (英国防省24年3月3日)

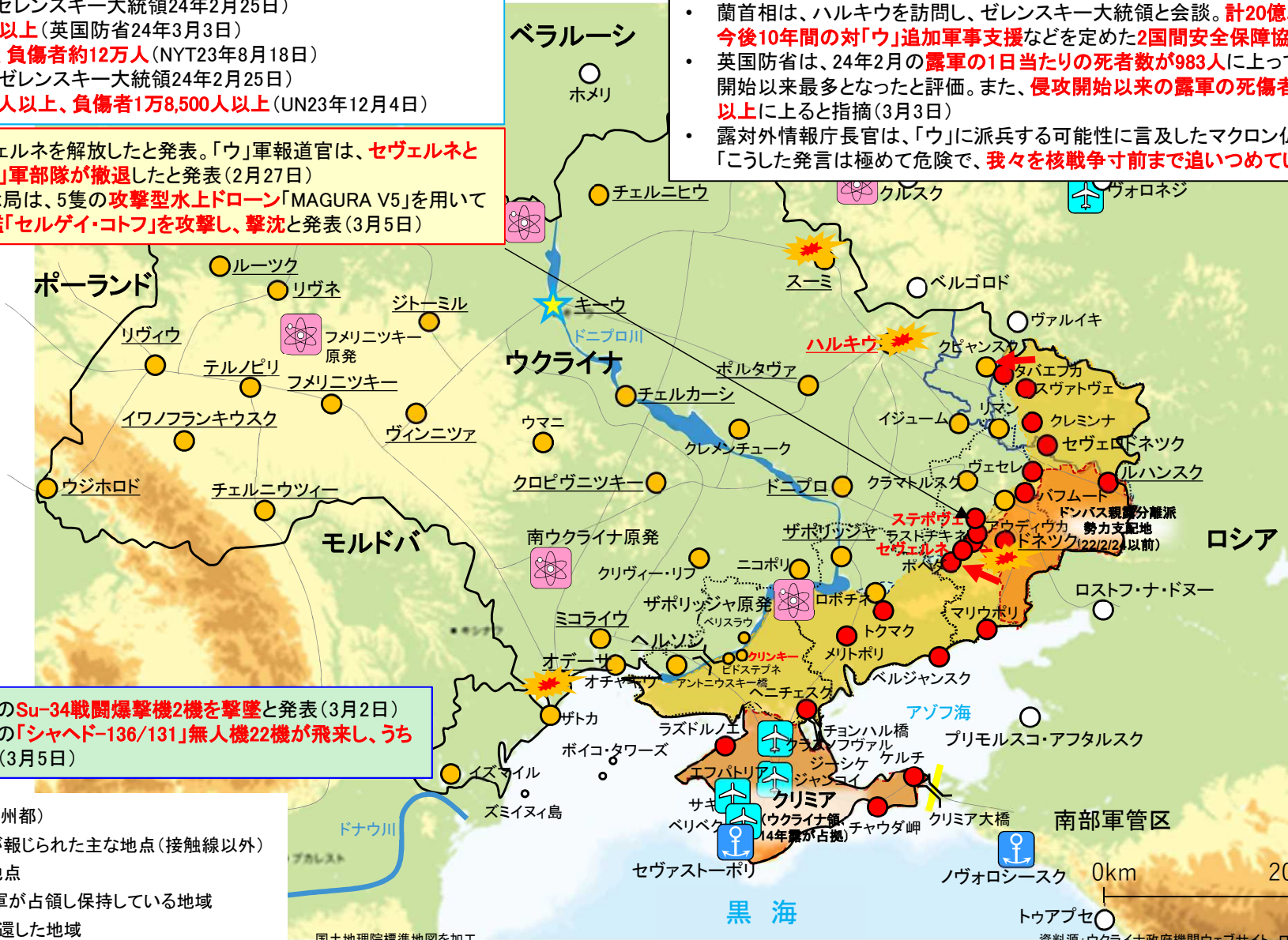
「ウ」軍: 死者約7万人、負傷者約12万人 (NYT23年8月18日)

: 死者3.1万人 (ゼレンスキー大統領24年2月25日)

「ウ」市民: 死者10,000人以上、負傷者1万8,500人以上 (UN23年12月4日)

- 露国防省は、セヴェルネを解放したと発表。「ウ」軍報道官は、セヴェルネとステポヴェから「ウ」軍部隊が撤退したと発表 (2月27日)
- 「ウ」国防省情報総局は、5隻の攻撃型水上ドローン「MAGURA V5」を用いて露黒海艦隊哨戒艦「セルゲイ・コトフ」を攻撃し、撃沈と発表 (3月5日)

- プーチン大統領は、露連邦議会に対する年次教書演説において、露軍が「特別軍事作戦」で主導権を握って攻勢に出ており、新たな「領土」を解放していると発言 (2月29日)
- 蘭首相は、ハルキウを訪問し、ゼレンスキー大統領と会談。計20億ユーロに上る軍事支援と今後10年間の対「ウ」追加軍事支援などを定めた2国間安全保障協定に締結 (3月1日)
- 英国防省は、24年2月の露軍の1日当たりの死者数が983人になっており、2022年2月の侵攻開始以来最多となったと評価。また、侵攻開始以来の露軍の死傷者数は、合計35万5,000人以上に上ると指摘 (3月3日)
- 露対外情報庁長官は、「ウ」に派兵する可能性に言及したマクロン仏大統領の発言に対し、「こうした発言は極めて危険で、我々を核戦争寸前まで追いつめている」と発言 (3月5日)



- 「ウ」空軍は、露軍のSu-34戦闘爆撃機2機を撃墜と発表 (3月2日)
- 「ウ」空軍は、露軍の「シャド-136/131」無人機22機が飛来し、うち18機を撃墜と発表 (3月5日)

- 主要都市 (下線は州都)
- ☀ 露軍による攻撃が報じられた主な地点 (接触線以外)
- 露軍が占領した地点
- ☀ 侵略開始後に露軍が占領し保持している地域
- ☀ ウクライナ軍が奪還した地域

国土院標準地図を加工

資料源: ウクライナ政府機関ウェブサイト、ロシア大統領府ウェブサイト、ISW等